

注意点 1

右手

音数を一気に増やせる親指のダウン&アップ弾き

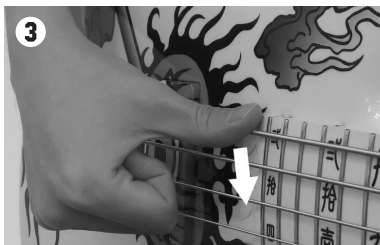
ここで練習する親指のダウン&アップ弾きは、通常のスラップ奏法に比べて、音数を一気に増やせる奏法だ。この奏法を使うことで、ピック弾きのようなサウンドでサムピングを連打することができる。弾き方は、親指の先端部分を使い、指紋側でダウン、爪側でアップを行なう(写真①&②)。サムピングのように手首の回転を利用しながら、弦を振り抜く時にダウン、手首を返しながら振り上げる時にアップを弾く。ピッキング位置は、指板上ではなくボディ上になるので注意してほしい(写真③&④)。



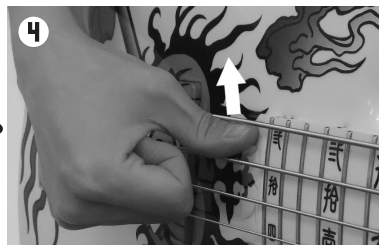
① ダウンは、親指の側面で行なう。



② アップは、親指の爪を使って弾く。



③ ボディ上でダウンを弾こう。



④ アップは親指の爪を引っ掛けるようにして行なおう。

注意点 2

右手

親指と人差指を使って2本弦を力強く鳴らそう

メイン・フレーズ1小節目前半には、1&2弦の2音を同時にプルする変則的なダブル・プルが登場する(写真⑤~⑧)。1弦は通常どおりに右手人差指を使うが、2弦は親指でアップを行なう要領で弾こう。ポイントは、2弦の下に親指を潜り込ませる時に、通常のアップよりも指を深く入れて、強く引っ張り上げることだ。また、親指と人差指のプルのタイミングを正確に合わせることも大切になる。この変則的なダブル・プルは、アップ・ダウンを使ったスラップにトリッキーさを加えられるテクニックなので、超絶ベーシストを目指す者なら必ず習得しよう。



⑤ 2弦のプルを弾く直前の親指の位置。



⑥ こちらは1弦のプルを弾く直前の人差指の位置。



⑦ 親指と人差指を弦の下に深く入れて……



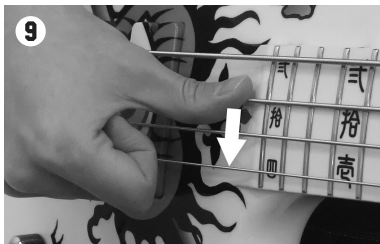
⑧ 2本弦を同時に力強くプルで鳴らそう。

注意点 3

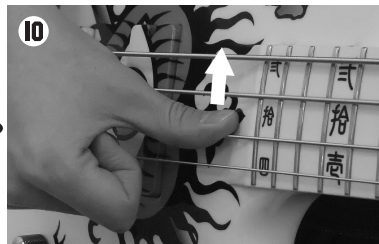
右手

ダウン&アップとプルのコンビネーションを修得せよ!

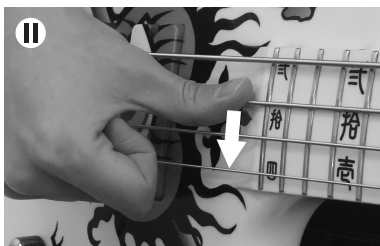
ピック弾きのオルタネイト・ピッキングの雰囲気を出せる親指のアップ・ダウンは、音数も圧倒的に増やせるので、ワンランク上のスラップ・テクニックと言えるだろう。そのため、習得にはかなり根気が必要になる。まずは梅フレーズを練習して、親指のダウン→アップを的確に発音できるように右手を鍛えよう。竹フレーズでは、ハンマリングと弦移動を練習してみたい。松フレーズでは、ダウン→アップ→ダウン→プルというコンビネーションを学ぼう(写真⑨~⑫)。“ローマは一日にして成らず【註】”ということわざがあるように、親指のアップ・ダウンもじっくり練習するように心掛けてほしい。



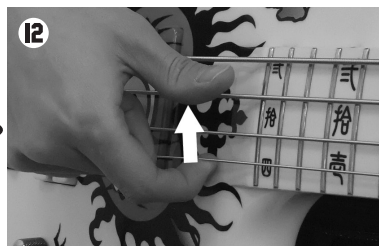
⑨ 松フレーズ1小節目1拍目。まずは3弦をダウンして……



⑩ 続いて、親指の爪を使ってアップを弾く。



⑪ 再び、3弦をダウンした後……



⑫ 人差指のプルで1弦を鳴らそう。

【ローマは一日にして成らず】小さな努力を積み重ねた先に、初めて大きな事業を成し遂げることができるということの意味する慣用語。日々コツコツ練習する姿勢が重要だ。